

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

特別会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	家族介護支援事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	長寿社会 部	地域包括ケア推進 課	評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	要介護高齢者が増加する中、介護者及び要介護者が安心して在宅生活を送ることができるよう、在宅介護者の精神的な負担の軽減を図り、在宅介護を推進するため、堺市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において重点取組項目として位置づけ、平成24年度から事業を開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他(ボランティア団体)		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	家族介護者、市民		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	家族介護者等の在宅医療・介護の継続に向けて、精神的・身体的負担を軽減するために、介護者のレスパイト(休息)の重要性を普及啓発するとともに、介護者をサポートする人づくりを行うことを目的とする。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①介護者支援の担い手を育成するため、「さかいお節介士養成講座」を開催し、その修了者であり、かつ継続的な自主活動を行う「登録お節介士」の活動支援として定期的な勉強会の開催や、介護家族のレスパイト(※)や「登録お節介士」の自主活動の場であるイベント「介護スマイルデイ」を開催する。 ②レスパイト(※)概念の普及啓発のため、「スマイル通信」の発行や市ホームページでの発信を行う。 ※レスパイト:「介護者の休息」という意味で、在宅介護を続けるためには、一時介護から離れて息抜きすることが大切であるという考え方		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () (一社)日本エルダーライフ協会			

Ⅲ. 投入量

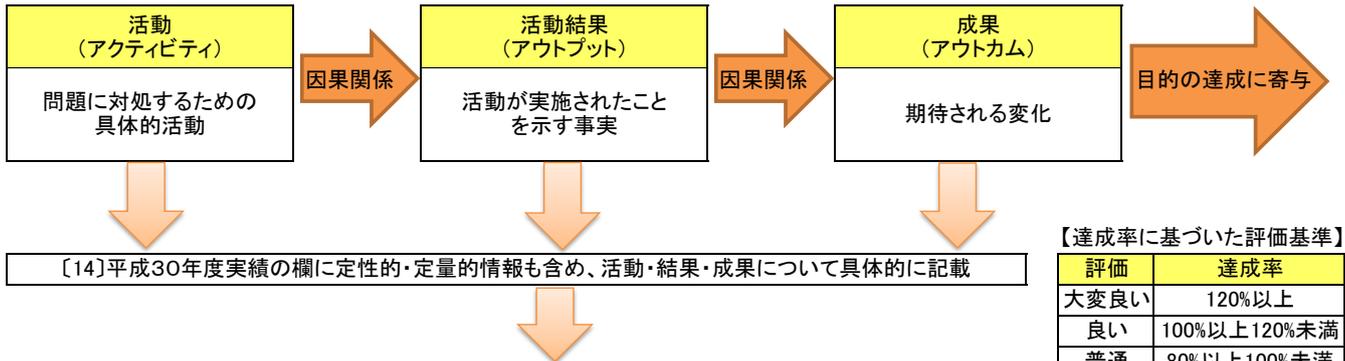
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	1,253	1,246	664	1,162	
主な事業費内訳	委託料	千円	1,072	997	570	858
	その他(需用費等)	千円	181	249	94	304
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円	733	729	384	671
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他(介護保険料)	千円	276	274	152	267
一般財源	千円	244	243	129	224	
12 人件費 (b)	千円	4,510	4,920	1,990	1,990	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	5,763	6,166	2,654	3,152	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	家族介護支援事業	シート番号	11-101
-------	----------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>介護者の方がホッと一息(レスパイト)できるように介護の基本的な知識や介護者支援について学び、身近にいる介護者への声かけやちよつとした手助けをする応援者を育成するため、平成30年度は、南区と東区で養成講座を実施し、その後交流会や運営会議(定期的に集まり、情報交換)を開催した。 さかいお節介士として登録している方は83名 ・5か所の認知症カフェへの見学、傾聴支援 ・さかい介護スマイルデイ「ケアニン」上映における企画、運営、当日の進行等 ・スマイル通信の発行(1,500部)</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		お節介士登録者数	人	目標値	100	100	100	100
				実績値	108	82	83	
				達成率	108%	82%	83%	
	評価	良い		普通	普通			
	算出方法・設定根拠など		養成講座を経て、自主的な活動を行う登録者数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		お節介士養成講座の開催数	回	目標値	3	4	4	4
				実績値	3	4	4	
達成率				100%	100%	100%		
評価	良い	良い		良い				
算出方法・設定根拠など		修了者による交流を含む養成講座開催数						

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
平成30年度には、認知症カフェなどの場で傾聴するなど実践を積んできた。身近で介護している方や住民多くの理解が深まるよう地域での活動経験につながり、今後の自主的な活動につながる有効な機会であった。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。